国立健康危機管理研究機構
国際医療協力局
JIHS
Bureau of Global Health Cooperation

vol. 3
December 2025

TENKAI
PROJECT NEWS

日本の医療を世界へ

国際展開推進事業はどう活用されたのか
— さらなる展開と多様な連携に向けて

ケニア | コンゴ民 | ザンビア |
インドネシア | ベトナム | カンボジア

フットケア技術で糖尿病から足を守る

｜ 2022 - 2024 年度｜ベトナム社会主義共和国｜佐賀大学医学部附属病院

写真：ベトナムのダナン病院にて医療用フットウェア「ASAHI FOOTCARE」装着モニターを評価（2023 年度）

糖尿病性足病変の増加とフットケアの必要性

近年、ベトナムでは生活習慣の変化により糖尿病患者が急増し、合併症である足病変（潰瘍、壊疽、足趾の変形など）も深刻化しています。悪化すると下肢切断に至ることも多く、ある病院の調査では感染性足潰瘍患者の平均切断率が 20%に達しています。しかし、適切なフットケアを指導できる専門人材が不足し、また素足にサンダルを履く生活習慣も外傷や感染のリスクを高めています。

こうした背景から、糖尿病患者の足を守る予防的製品や技術の導入が急務とされ、佐賀大学はアサヒシューズ株式会社と産学連携で開発した医療用フットウェア「ASAHI FOOTCARE（AFC）」を活用し、2022 年よりフットケア教育プロジェクトを開始しました。

医療とビジネスの両輪で糖尿病患者の足を守る

プロジェクトでは、製品「AFC シューズ」の提供にとどまらず、持続可能な国際展開モデルの構築を目指しました。ハイリスク患者を迅速に特定する「3 分間足病変診察」プロトコルや、医療従事者・患者向け e ラーニングを含む教育プログラムを現地の医療機関に導入。日本国内での研修や専門家の派遣による人材育成も行いました。さらに、

日本で研修を受けた医療従事者が糖尿病患者 31 名を対象に製品モニタリングを行い、AFC シューズの臨床的有効性を検証しました。

加えて、持続的な流通体制を構築するため、ダナン病院と連携し、現地販売会社「DANASA 社」を 2023 年に設立。AFC シューズの輸入・販売を担う営利法人として、プロジェクト終了後も製品の供給を継続できる体制を整えました。主要な専門家団体であるベトナム糖尿病・内分泌学会（VADE）からも公式後援を受け、製品と教育プログラムへの信頼獲得と全国展開の足がかりを得ました。こうして製品の普及と同時に、医療現場での活用体制も整備が進みました。

ベトナム DANASA 社の販売事務所（2024 年度）

ベトナムでの糖尿病足病変診療に関するミーティング（2024 年度）

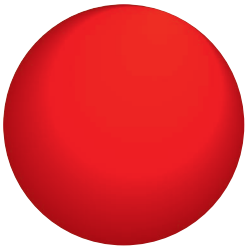
市場創出を見据えた持続可能な国際展開モデル

3 年間の活動を経て、2024 年 12 月には AFC シューズ 350 足がアサヒシューズ社から DANASA 社に商業輸出され、ベトナムでの正式販売がスタートしました。2025 年には年間 1,000 足の販売計画も進行中で、現地需要の拡大に対応できる体制が整いつつあります。臨床的有効性が現地でも確認されたことは、今後のマーケティングや政策提言における重要な根拠となっています。教育面では、活動期間中に 295 名の医療従事者が研修を受け、うち 26 名が現地の指導者・専門家として育成されました。VADE との連携を通じて、全国規模での教育活動や製品の標準治療への導入も視野に入っています。

このプロジェクトが成果を上げ、現地での持続可能性を高めたのは、プロジェクト期間に限定した取り組みとせず、終了後を見据えた内容としたことが挙げられます。プロジェクトを通じて現場の医師や信頼できる流通パートナーの製品に対する理解を深め、製品を使う人材育成ができたことで、製品をより広く現地で展開する足がかりとすることができました。AFC シューズは DANASA 社を通じて現地で入手可能であり、プロジェクトは現在も継続中です。製品、診療プロトコル、人材育成、流通体制を一体化したこの取り組みは、医療製品の国際展開における持続可能なモデルケースの一つとなっています。

【実施国】ベトナム社会主義共和国**【プロジェクト名称】**「ベトナムにおける糖尿病足病変診療としてのフットウェア普及に関する支援事業」（2022, 2023, 2024）**【実施主体】**佐賀大学医学部附属病院 https://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/medicalcare/clinical/reconstructive/

厚生労働省
医療技術等国際展開推進事業



日本の医療を世界へ―

お問い合わせはホームページから

｜事務局｜国立健康危機管理研究機構 国際医療協力局
〒 162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
｜TEL｜03-3202-7181［代表］｜MAIL｜kokusaitenkai@jihs.go.jp
｜HP｜https://kyokuhp.jihs.go.jp/activity/open/index.html

TENKAI Project News vol.3

発行

2025 年 12 月

医療技術等国際展開推進事業 事務局

国立健康危機管理研究機構
Japan Institute for Health Security

〒 162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
tel: (03)3202-7181 fax: (03)3205-7860
kokusaitenkai@jihs.go.jp
https://kyokuhp.jihs.go.jp

©Japan Institute for Health Security ALL RIGHTS RESERVED.

TENKAI Project News vol. 3 2025　2025 年 12 月発行　ISSN 2436-0473　国立健康危機管理研究機構 医療技術等国際展開推進事業事務局